

平成25年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 初期環境調査
 調査媒体: 水質(ng/L)
 地方公共団体: 横浜市
 調査地点: 鶴見川亀の子橋(横浜市)

調査対象物質	測定値(評価値)	報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1		
[1-1] クロルマジノン	nd	0.014	0.038
[1-2] 酢酸クロルマジノン	0.04	0.012	0.033
[2-1] 2,3-ジクロロアニリン	nd	1.1	3.1
[2-4] 2,4-ジクロロアニリン	2.5	1.0	1.1
[2-3] 2,5-ジクロロアニリン	nd	0.9	1.8
[2-4] 2,6-ジクロロアニリン	nd	1.2	1.5
[2-5] 3,4-ジクロロアニリン	25	0.8	2.6
[2-6] 3,5-ジクロロアニリン	nd	1.0	2.3
[4] ジナトリウム=4-アミノ-3-[4'-(2,4-ジアミノフェニルアゾ)-1,1'-ビフェニル-4-イルアゾ]-5-ヒドロキシ-6-フェニルアゾ-2,7-ナフタレンジルスホナート (別名:CIダイレクトブラック38)	nd	21	34
[5] <i>N,N</i> -ジメチル- <i>n</i> -オクタデシルアミン	1.9	0.31	0.80
[6] <i>N,N</i> -ジメチルドデシルアミン	3.7	1.0	6.2
[7] 2-(チオシアナートメチルチオ)-1,3-ベンゾチアゾール (別名:TCMTB)	nd	0.19	0.82
[8] <i>o</i> -テルフェニル	nd	0.20	0.46
[11] ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラート	4.7	2.4	2.4
[13] 4,4'-ビピリジル	nd	0.9	0.9
[14] 3-(4-メチルベンジリデン)-1,7,7-トリメチルピシクロ [2.2.1]ヘプタン-2-オン	nd	140	440

(注1) nd: 不検出

(注3) : 参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない)

(注4) [11]ナトリウム=1,1'-ビフェニル-2-オラートの測定結果は、2-フェニルフェノールとして測定された値をナトリウム塩として質量換算したものであり、ナトリウム以外の塩に由来する2-フェニルフェノールが含まれる可能性が有る。